

8-3 平和社会の推進

世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていきます。

■ 施策の展開内容

「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。

■ 現状と課題

- 戦後 75 年以上が経過し、戦争を体験した人、戦争の体験を語る人が少なくなっています。戦争の記憶が薄れていく中、次の世代、さらに後世へ、戦争の悲惨さと平和の尊さを継承していく必要があります。

■ 主な取組

平和社会の推進

- 「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、被爆地である広島・長崎へ中学生を派遣します。
- 派遣中学生 OB・OG によるリレー講座を継続するほか、若い世代が参加しやすく、平和について考えるきっかけとなるよう工夫しながら、市民とともに平和事業に取り組みます。
- 原爆被爆国として記憶を風化させることなく後世に伝えるため、平和祈念式典を開催します。
- 戦没者に対し追悼の意をささげるとともに、二度と戦争を繰り返すことのないよう、恒久平和を市民と祈念するため、遺族会と協力し戦没者追悼式を継続して実施していきます。

■ 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
リレー講座開始からの派遣中学生 OB・OGの参加述べ人数	79人 (R2)	163人	事業開始（平成27年度） からの延べ人数
平和事業への参加者数	310人 (R2)	470人	・平和祈念式典組合せ事業 ・平和の集い